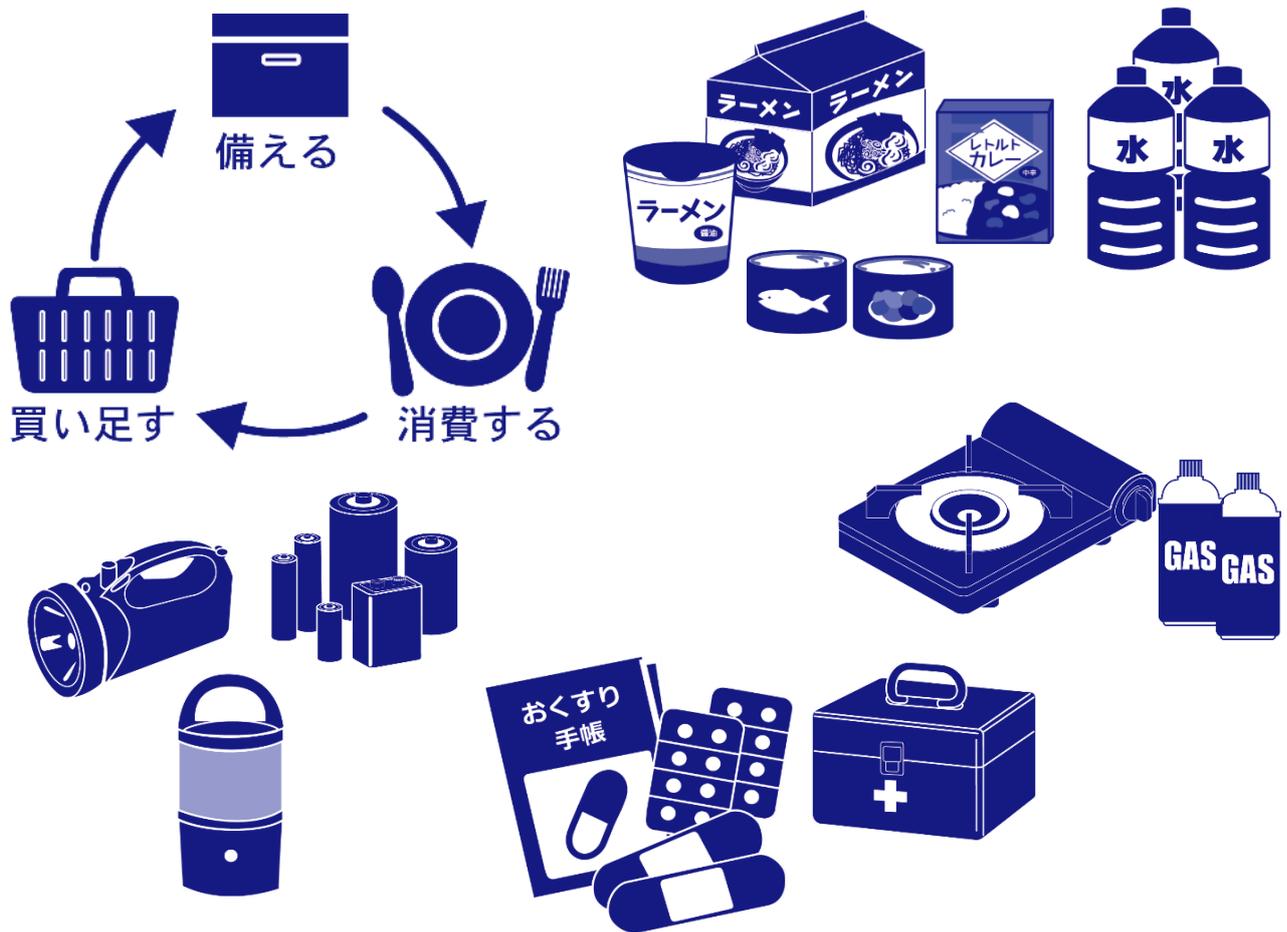




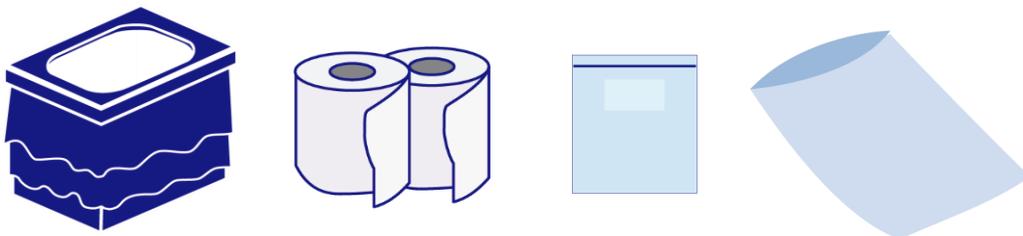
◆ 自宅の備蓄品を再確認!

大地震になると、ライフラインが無くなる可能性が大なので、自宅に備蓄をしましょう
目安は1週間、自宅で家族が生活できる物を備蓄しましょう
災害になったらすぐ備蓄食料に手をつけるのではなく、まずは冷蔵庫の中身をチェック!
冷凍庫の中身を活用できる料理から作って備蓄品はその後!
※冷凍食品を入れて保存するクーラーボックスも備蓄品に入れておくと便利

定期的に備蓄品を確認し、ローリングストックを実施しましょう



食べ物だけでなく「トイレ」も必須
簡易トイレだけでなく、必要なトイレトペーパーも備蓄を!





【なぜ備蓄品は最低1週間分必要なの?】

大地震は、ライフライン(電気、ガス、水道)が全て使えなくなる可能性が大。
例えば、南海トラフ地震を想定すると...

電気

関西の発電所のほとんどは津波の影響がある場所にあり、強震動や津波により沿岸部の火力発電所等が被災し、稼働できなくなれば停電が長期化し、復旧にも時間がかかると予想されます
→電力が無ければ、排水ポンプの機能が停止し、長期湛水が継続すると予想されます

ガス

関西のガスタンクの多くは津波の影響がある場所にあり、また、ガスタンクからの供給ルートが液状化の影響で使えなくなる可能性が大きく、復旧に時間がかかると予想されます。

水道(上水道、下水道)

上水道は浄水場で水をきれいにし、配水上から水を供給する仕組みです。大阪市はほぼ平坦なので加圧式ポンプにより配水されていて、このポンプを動かす電力と、排水管を確認する作業に大変時間がかかり、復旧までに時間がかかると予想されています

※電気は地上に設備があるため比較的早くチェックが済みますが、ガスや水道(下水道)は順に土の中をチェックしながら復旧しなければならず、時間は大変かかります



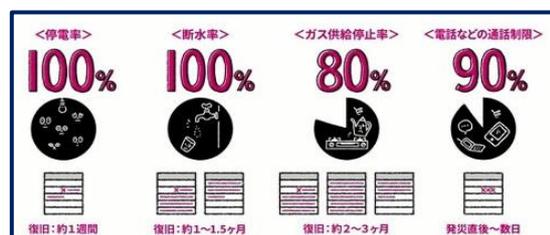
大阪市水道局 配水施設概要

<https://www.city.osaka.lg.jp/suido/cmsfiles/contents/0000054/54665/280418-2016suidogijutu09-10.pdf>



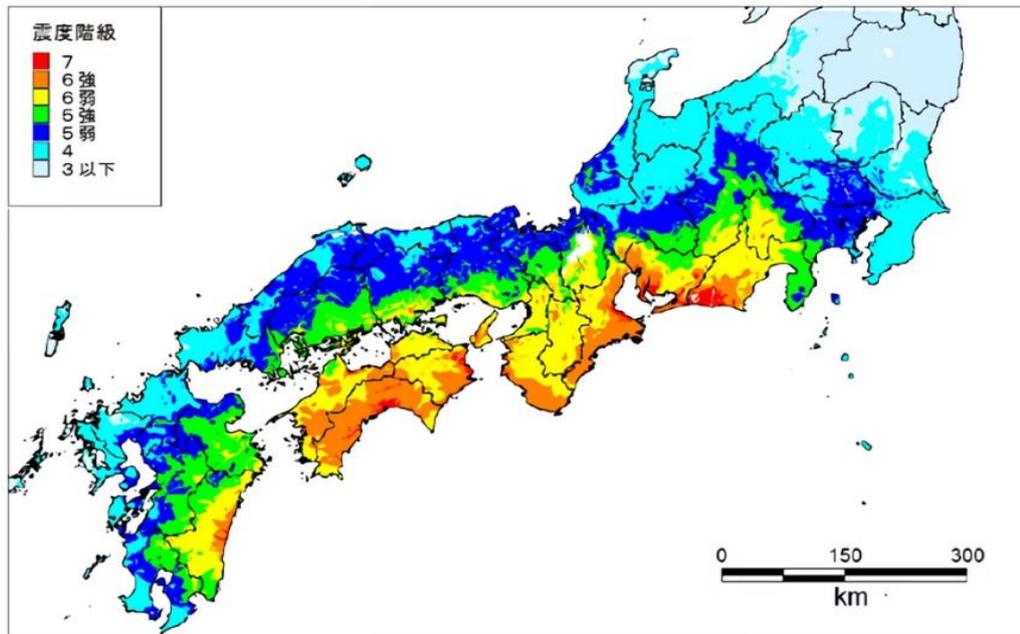
大阪北区ジシン本

<https://jishinbook.net/download/>



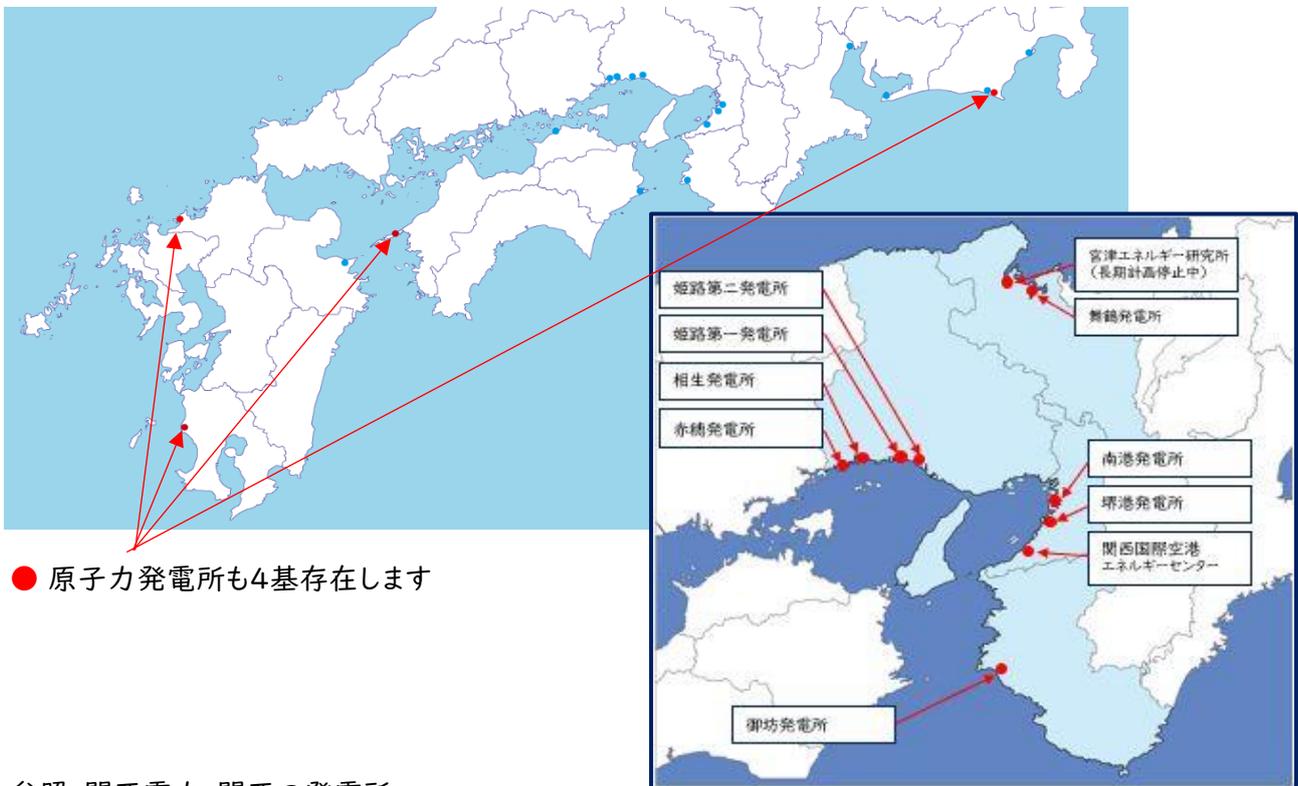


● 津波に影響を受ける海岸の発電所



参照:気象庁 南海トラフ地震で想定される震度

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/nteq/assumption.html>



● 原子力発電所も4基存在します

参照:関西電力 関西の発電所

https://www.kepc.co.jp/energy_supply/energy/thermal_power/plant/index.html

※ゼロメートル地帯や津波被害を受けた地域では、湛水が排水されるまでの間、復旧作業が困難

※火力発電所等が浸水し、発電用燃料、消耗品、資機材等の調達先企業の操業停止が長期化する

場合や、これらの物品の輸送経路(陸路、航路)の障害が長期化する場合、発電停止や復旧が

長期化する事が想定できる